

事業番号	05 03 03	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療推進課	
		実施期間	S54 ~	E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	健康寿命					
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制の充実に不可欠である救命救急センターの運営状況は、慢性的な赤字状態にある。 全県をカバーする広域救急搬送体制の確保のため、ドクターヘリの運航が効果的である。 適切な救急医療を提供するためには、医療施設・設備の整備を行う必要がある。 平成15年以降の救急救命士による処置範囲の拡大に伴い、その技術や知識の向上が必要である。 東日本大震災や熊本地震での課題を踏まえ災害時における医療体制の充実強化を図る必要がある。 	30年度 決算額	789,913 千円
		職員数	2.21 人
目指す姿	救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保 (主な実施内容:救命救急センター運営支援、ドクターヘリ運航経費助成、病院施設・設備整備経費助成、長野県DMAT養成研修など)		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況					
					No	成果指標	29年度	30年度		
予算額	前年度繰越				目標値	成果	達成状況			
	Aの 財源	当初予算	881,059	836,136	969,302	① 救命救急センターの 充実度評価Aの割合	100%	100%	100%	達成
補正予算		-81,976	-14,711							
合計(A)		799,083	821,425	969,302						
一般財源		376,225	418,629	450,712						
コスト	県債				② ドクターヘリ要請の重複に よる 対応不能事案の割合	2.7%	5.7%	1.0%	達成	
	国庫支出金	354,688	399,341	518,580						
	その他	68,170	3,455	10						
	決算額(B)	790,892	789,913							
概算 人件 費	職員数(人)	2.26	2.21	2.21	③ 長野県DMAT養成研修 年間修了者数			32人	34人	達成
	概算人件費(C)	18,311	18,162	18,162						
	概算事業費(B(A)+C)	809,203	808,075	987,464						
備考					成果指標 設定理由	① 救命救急センターの充実度評価Aの割合:100%を維持 ② ドクターヘリ要請の重複による対応不能事案の割合:1機体制下の実績(5.7%)以下 ③ 長野県DMAT養成研修年間修了者数:大規模災害発生に備え、DMAT隊員の必要数を確保するため				

目標に対する 成果の状況	① 厚生労働省が実施する救命救急センター充実度評価の結果、全7施設中2施設がS評価、5施設がA評価となり、目標を達成した。 ② 要請の重複による対応不能案件の割合については、平成23年度中に2機目を導入し、2機が連携することで、平成24年度以降毎年度目標を達成している。 ③ 県主催のDMAT養成研修を実施し、平成29年度を超える受講者を集めることができ、目標を達成した。
-----------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	メディカルコントロール体制の充実強化や災害時におけるDMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを図る必要がある。	消防職員を対象とした講習の実施や災害発生を想定した訓練の実施・支援、DMAT養成研修の充実などにより、引き続き、救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保を図っていく。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		救急緊急医療費損失補てん事業	医療機関が救急医療を提供した結果未収となった医療費に対し補助	0.03	2,363	2,363	2,363
2		広域災害・救急医療情報システム運営事業	長野県広域災害・救急医療情報システムの運営	0.13	40,095	39,827	40,790
3		長野県救急医療機能評価委員会運営事業	救命救急センターの機能評価を行う救急機能評価委員会を開催	0.10	214	188	317

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度
					(当初)	(決算)	(当初)
4		救命救急センター運営費補助金	4施設の救命救急センターの運営費(給与費、材料費等)に対し補助	0.30	262,313	224,387	299,785
5		ドクターヘリ運航事業	ドクターヘリの運航に要する経費に対し補助 ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料を支出	0.30	498,579	498,578	501,115
6		救急医療対策施設・設備整備事業	病院群輪番制病院の施設・設備整備に対し補助 医療施設等の耐震化又は補強に対し補助	0.05	18,226	17,063	114,061
7		長野県メディカルコントロール協議会	県メディカルコントロール協議会・分科会を1回開催 気管挿管再教育講習、薬剤投与追加講習の実施	0.30	4,378	3,246	963
8		災害医療体制整備事業	本県の災害・救急医療体制についての専門家による協議・課題検討会を開催 災害医療関係者の資質向上のための研修会を開催 DMAT体制整備のための協議・検討会を開催、養成研修・訓練参加への支援	1.00	9,968	4,261	9,908
合計				2.21	836,136	789,913	969,302

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	救命救急医療対策事業				部局	健康福祉部	課・室	医療推進課		
05 03 03											
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度			
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
1	救急緊急医療費損失補てん事業	救急緊急医療費損失補てん事業	直接	医療機関が救急医療を提供した結果未収となった医療費に対して補助	医療機関が救急医療を提供した結果未収となった医療費に対して補助を実施した（18病院135件）	計画通り ○	2,363	2,363	2,363		2,363
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業	広域災害・救急医療情報システム賃借料等	直接	システムの賃借及び運用に係る必要経費	システム賃借料や運営に係る県医師会への委託料等、必要経費を支出した。	計画通り ○	40,095	40,095	40,095		39,827
3	長野県救急医療機能評価委員会運営事業	救命救急センターの機能評価	直接	救命医療機能評価委員会の開催	佐久総合病院佐久医療センター及び諏訪赤十字病院の現地調査を実施した。	計画通り ○	257	214	214		188
4	救命救急センター運営費補助金	救命救急センター運営費補助金	補助金	4施設の救命救急センターの運営費（給与費、材料費等）を支援	4施設の救命救急センターの運営を支援するため、補助金を支出した。	計画通り ○	313,497	374,730	262,313	-10,118	224,387
5	ドクターヘリ運航事業	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリの運航に要する経費に対して助成	ドクターヘリ運航に要する経費を助成するため、補助金を支出した。	計画通り ○	498,562	498,562	498,562		498,562
5	ドクターヘリ運航事業	電波利用料負担金	直接	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料	ドクターヘリ運行に係る無線局の電波利用料を支出した。	計画通り ○	15	17	17		16
6	救急医療対策費施設・設備整備事業	病院群輪番制病院施設整備事業	補助金	—	—		1,212	0	0		
6	救急医療対策費施設・設備整備事業	病院群輪番制病院設備整備事業	補助金	病院群輪番制病院として必要な設備整備を行う4事業者（6施設）に対する補助	病院群輪番制病院として必要な設備整備を行う5事業者（6施設）に対して補助を実施した。	計画通り ○	11,338	12,884	12,496	-480	12,016
6	救急医療対策費施設・設備整備事業	医療施設等耐震整備事業	補助金	耐震補強のために施設の改修工事を行う1事業者（1施設）に対し補助する。	耐震補強のために施設の改修工事を行う1事業者（1施設）に対して補助を実施した。	計画通り ○	5,097	5,059	5,059	-253	4,719
6	救急医療対策費施設・設備整備事業	災害拠点病院施設設備整備事業	補助金	災害拠点病院として必要な設備整備を行う1事業者（1施設）に対する補助	災害拠点病院として必要な設備整備を行う1事業者（1施設）に対して補助を実施した。	計画通り ○	0	692	671	-343	328
7	長野県メディカルコントロール協議会	県メディカルコントロール協議会・分科会の開催	直接	県メディカルコントロール協議会・分科会を1回開催	県メディカルコントロール協議会・分科会（ビデオ喉頭鏡WG）を1回開催した。	計画通り ○	371	366	366		463
7	長野県メディカルコントロール協議会	気管挿管再教育講習の実施	直接	気管挿管再教育講習の実施	気管挿管再教育講習を1回実施した。	計画通り ○	225	225	225		67
7	長野県メディカルコントロール協議会	救急患者受入実態調査事業	直接	救急患者受入実態調査の実施	国から事業委託された場合に実施する事業だが、30年度においては、事業委託がされなかった。	未実施 ×	372	372	372		0
7	長野県メディカルコントロール協議会	拡大二行為等追加講習の実施	直接	30年度は薬剤投与追加講習実施のため実施なし	—		1,329	0	0		0
7	長野県メディカルコントロール協議会	薬剤投与追加講習の実施	直接	薬剤投与追加講習の実施	10/17～11/21に渡り、薬剤投与追加講習を実施した。	計画通り ○	0	3,415	3,415		2,716
8	災害医療体制整備事業	災害・救急医療体制検討協議会等の開催・運営	直接	災害・救急医療体制検討協議会、災害拠点病院連絡協議会、DMAT分科会、災害医療コーディネート研修等を開催	DMAT分科会を2回、救命救急センター検討ワーキンググループ会議を1回、地域災害医療コーディネート研修を1回開催	計画通り ○	2,044	2,632	2,632		1,087

事業番号	事業名	救命救急医療対策事業				部局	健康福祉部	課・室	医療推進課			
05 03 03												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
8	災害医療体制整備事業	災害医療研修会の実施	委託	災害医療について広報啓発を実施	災害医療研修会を1回開催（2/2）	計画通り ○	249	249	249		249	
8	災害医療体制整備事業	長野県DMAT養成研修の実施	委託	災害時に長野県DMATとして活動する者を養成	長野県DMAT隊員養成研修を1回開催（11/17～18）	計画通り ○	270	413	413		413	
8	災害医療体制整備事業	各種訓練への参加	補助 金	政府主催総合防災訓練へ参加する者に対して経費を補助	平成30年度総合防災訓練（大規模地震時医療活動訓練）への参加者に対し費用補助	計画通り ○	1,728	3,984	3,984	-3,517	467	
8	災害医療体制整備事業	DMAT活動保険料	直接	DMAT傷害保険への加入	長野県DMAT隊員として派遣される者に係る傷害保険料を支払	計画通り ○	884	588	588		25	
8	災害医療体制整備事業	災害時通信体制の整備	直接	災害時情報伝達研修や衛星携帯電話等による災害時通信体制の構築	EMIS操作研修を2回開催したほか、衛星携帯電話（保健福祉事務所10台＋県庁2台）の使用料を支払	計画通り ○	1,151	1,151	1,151		1,078	
8	災害医療体制整備事業	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）の運用体制の整備	直接	SCU設置運営訓練の実施やSCU用医療機器の点検等	SCU設置運営訓練を1回実施、SCU用医療機器の点検・交換を実施	計画通り ○	0	1,271	951		942	
8	災害医療体制整備事業	日本DMATインストラクターの養成支援	補助 金	—	—		0	290	0			
合 計								881,059	949,572	836,136	-14,711	789,913